



錦総合支所



本郷支所・本郷ふるさと交流館



3月26日、錦総合支所と本郷支所の庁舎が完成し、それぞれの落成式が行われました。福良彦市長は「行政サービスの拠点として親しまれるよう、職員一丸となつて取り組みます」とあいさつし、テープカットで完成を祝いました。

どちらの建物も、旧庁舎建て替えるため確保していた樹齢約

80年のヒノキ材や、県産の木材を活用し、周辺の環境に配慮した木造平屋建てとなっています。

## 錦総合支所・本郷支所落成式

また省エネルギー対策にも配慮して太陽光発電設備やLED照明が取り入れられ、錦総合支所では木質ペレットが空調用熱源に採用されています。延床面積は錦総合支所の庁舎棟で972m<sup>2</sup>、本郷支所は「本郷ふるさと交流館」と併設され、835m<sup>2</sup>となっています。

間錦総合支所地域振興課

☎⑦2110

美和総合支所本郷支所

☎⑦2311

# 市政 PICK-UP

## 木造の温かな庁舎が完成



▲錦総合支所執務室

# 駅周辺の活性化へ大きく前進

岩国駅周辺整備事業のうち自由通路整備や駅舎改築、バリアフリー化などがいよいよスタートします。

3月24日、市は西日本旅客鉄道㈱と、自由通路等と岩国駅橋上駅舎化に関する協定を締結しました。翌25日には、市役所で杉岡篤広島支社長と福田良彦市長が共同記者会見を開き、握手を交わしました。

自由通路・橋上駅舎（市のバスターミナルなどを含む）は、平成29年度末の完成、利用開始を目指します。

## 岩国駅自由通路新設等工事・橋上駅舎化工事施行の協定締結

指し、その後、地下通路出入口改修、西口駐輪場連絡通路整備が行われます。これらに続き、市で東口駐輪場・東西駅前広場整備も行われる予定です。

福田市長は「市民の積年の願いがいよいよスタート。1日も早い完成を目指し協力していきたい」と述べ、杉岡支社長は「観光やビジネスの重要な拠点である岩国駅を、多くの利用者に親しんでもらえる駅にしたい」と述べました。

問拠点整備推進課 ☎ 0951-71



▲岩国駅西口イメージ図：岩国市作成

▲握手を交わす杉岡支社長と福田市長

3月25日、横山の吉香公園で藤岡市助博士の銅像の除幕式が行われ、福田良彦市長、博士が創業者の一人である東芝の田中久雄社長など関係者約150人が出席しました。藤岡市助博士（1857～1918年）は「日本の電気の父」と呼ばれ、白熱電球やエレベーター、発電機などを国産化した科学者で、日本で最初のアーク灯点火にも関わりました。銅像は藤岡市助博士顕彰会が市出身の彫刻家である

## 藤岡市助博士銅像建立除幕式

小川幸造さんに依頼し、制作されました。

田中社長は「博士の想像力に富んだ精神は、東芝で脈々と受け継がれている。岩国から次世代を担う人材が生まれることを願う」と祝辞を述べました。

また銅像建立を記念して「藤岡市助博士記念科学振興表彰」が行われ、児童生徒10人と、高等学校1校が表彰されました。

問文化財保護課 ☎ 0951-440-452



▲除幕された藤岡市助博士像を眺める関係者ら